

株主通信

2018年 8月期

2017年8月21日▶2018年8月20日

ケイティケイ 株式会社

証券コード：3035

CONTENTS

株主の皆様へ

TOPICS

2019年8月期の事業計画

「ktkイノベーションプラン」がスタート!

全社用車「衝突回避支援ブレーキ機能搭載車両」へ

財務データ 要約

会社データ・株式の状況

株主メモ



ktk

☑ 株主の皆様へ

ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年8月期（2017年8月21日～2018年8月20日）のケイティケイグループの決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当期につきましては、更なる売上と利益の拡大、企業価値の最大化を目指す「ktkアドバンスドプランVer.2」に取り組んできた結果、4期ぶりに増収に転じ、営業利益、経常利益ともに3期連続の増益且つ、経常利益においては昨年に引き続き上場来最高益を更新いたしました。

引き続き、株主の皆様への期待に沿えるよう邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ケイティケイ株式会社

代表取締役社長 **土岐 勝司**



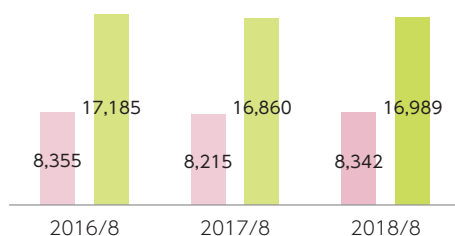
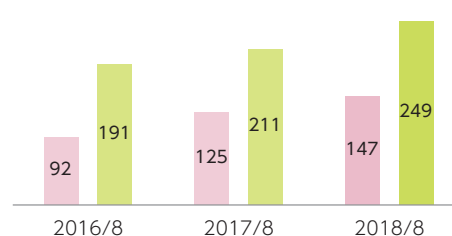
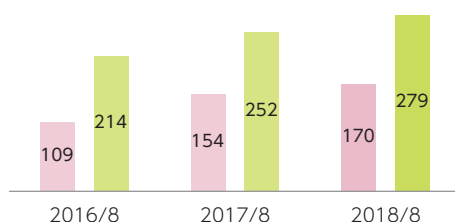
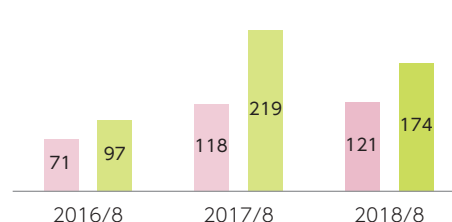
4期ぶりに増収に転じ、営業利益、経常利益ともに3期連続の増益且つ、経常利益においては昨年に引き続き上場来最高益を更新

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

こうした中、前期事業計画を更に高度なものへと進化させた当期事業計画「ktkアドバンスドプランVer.2」を策定し、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門戦略を掲げ、全社一丸となって邁進してまいりました。

営業部門においては、モバイル機器（タブレット型PCやスマートフォン）の活用と社用車の一人一台専用化に加え、社員の自宅近くに社用車専用駐車場を整備するなどの直行直帰体制の強化に取り組み、日々の営業時間を1.2時間拡大させる成果を上げ、売上の増加に寄与しました。また、ものづくり現場の生産部門では、原点である生産性の向上に注力した結果、主力商品の「リパクトナー」や「リパクトジェルインク」の不具合の発生率を0.1ポイント低下させる等の品質の向上を実現しました。管理・経営部門では、社内システムの改善による業務効率の向上と働く環境や体制の整備に取り組んできたことが評価され、

■ 上半期 ■ 通期 (単位:百万円)

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益


「名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認証されるなど、企業価値の向上に貢献しました。調達・物流部門においては、新物流センターである駒ヶ根物流センター開設の他、継続して取り組んできた調達コストの削減において計画を超える削減効果を上げ、売上と利益貢献を果たしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は16,989百万円(前連結会計年度比0.8%増)、営業利益は249百万円(前連結会計年度比18.0%増)、経常利益は279百万円(前連結会計年度比10.7%増)となり、4期ぶりに増収に転じ、営業利益、

経常利益ともに3期連続の増益且つ、経常利益においては昨年に引き続き上場来最高益を更新いたしました。しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社の株式会社青雲クラウンの社葬費用による特別損失を計上したことや、前期において税効果による評価性引当金を取り崩し、法人税等が減少していたことにより174百万円(前連結会計年度比20.6%減)となりました。

2019年8月期におきましても、新たな事業計画「ktkイノベーションプラン」で掲げる戦略の完全達成を目指して、一丸となり取り組んでまいります。

2019年8月期の事業計画

「ktkイノベーションプラン」がスタート！

「ktkイノベーションプラン」の各部門戦略

営業戦略

本業回帰、新たなマーケティング手法の導入

新見積システムの稼働や車載モバイルプリンターの導入など、IT化を更に強力に進めることで営業社員の業務効率を高め、当社の強みであるFace to Face（フェイストゥフェイス）の営業に注力できる環境を作り出します。加えて、リサイクルトナーの販売拡大施策の一つとして販売店の強化を図り、主力商品である「リパクトナー」の更なる拡販を目指してまいります。また、新たな営業手法に取り組む組織の新設を計画しており、これらすべての施策を実行することで更なる売上の増加を実現します。



生産戦略

[駒ヶ根工場]増産体制構築、ドラムリユース最大化、総原価削減、品質改善、最速開発
[春日井工場]新商品開発とコスト削減

主力商品「リパクトナー」を製造する駒ヶ根工場では、売上の増加に伴う増産体制の構築とともに、新たな検査機導入による検査工程の自動化や新機種の業界最速開発を掲げ、ものづくりの強化を図ってまいります。また、「リパクトジェルインク」や「リパクトリボン」を製造する春日井工場では、商品開発のための新たな設備投資を図ることで、生産性の向上とコスト削減を実現します。



管理・経営戦略

企業価値とワークライフバランスの向上

企業価値の向上を図るため、新規事業開拓のプロジェクトを立ち上げ、リサイクル事業の次の柱を創出してまいります。また、ワークライフバランスの更なる向上を掲げ、「早帰り日」の拡充等による残業時間の削減の他、集合型研修等の人材育成制度を充実させることで社員満足度を高め、当社のビジョンである「物心両面で社員が幸福になれる会社の実現」を目指します。



調達・物流戦略

コストダウンとサービスレベル向上

これまででも強かに推し進めてきたコストダウンの施策を継続することで、利益貢献を果たしてまいります。また、仕入、発注業務の更なる自動化を図り、業務の効率化と営業のバックアップ並びにサポートを強化し、お客様のもとへ、より早く、より正確に商品をお届けする体制を構築します。



全社用車「衝突回避支援ブレーキ機能搭載車両」へ

営業活動の効率化による顧客対面時間の拡大と直行直帰の推進により、社用車の使用頻度が高まることで事故の発生が危惧されることから、すべての社用車を先進の安全機能（衝突回避支援ブレーキ、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、オートハイビーム等）を搭載した車両に切り替えました。今後も、事故の防止を図るとともに、事故のない社会の実現へ向け、取り組んでまいります。

衝突回避支援
システム



財務データ要約

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 2018年8月20日	前期末 2017年8月20日
資産の部		
流動資産	5,037	5,440
現金及び預金	2,055	2,400
受取手形及び売掛金	2,361	2,430
商品及び製品	463	430
原材料及び貯蔵品	66	48
繰延税金資産	46	59
その他	47	71
貸倒引当金	△3	△1
固定資産	2,944	2,834
有形固定資産	1,644	1,577
無形固定資産	113	139
投資その他の資産	1,187	1,117
資産合計	7,982	8,274
負債の部		
流動負債	4,395	4,774
支払手形及び買掛金	2,826	3,009
短期借入金	1,021	1,233
未払法人税等	54	43
その他	493	488
固定負債	625	665
長期借入金	177	223
役員退職慰勞引当金	96	97
その他	352	344
負債合計	5,021	5,439
純資産の部		
株主資本	2,804	2,699
資本金	294	294
資本剰余金	663	663
利益剰余金	1,847	1,742
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	155	135
純資産合計	2,960	2,834
負債純資産合計	7,982	8,274

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2017年8月21日～ 2018年8月20日	前期 2016年8月21日～ 2017年8月20日
売上高	16,989	16,860
売上原価	13,520	13,464
売上総利益	3,469	3,395
販売費及び一般管理費	3,219	3,184
営業利益	249	211
営業外収益	124	129
営業外費用	95	88
経常利益	279	252
特別利益	1	7
特別損失	20	—
税金等調整前当期純利益	260	259
法人税、住民税及び事業税	74	54
法人税等調整額	11	△14
法人税等合計	86	40
当期純利益	174	219
親会社株主に帰属する当期純利益	174	219

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2017年8月21日～ 2018年8月20日	前期 2016年8月21日～ 2017年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	△325
現金及び現金同等物の増減額(△)	△233	1
現金及び現金同等物の期首残高	1,971	1,970
現金及び現金同等物の期末残高	1,737	1,971

会社データ・株式の状況 (2018年8月20日現在)

会社概要

社名	ケイティケイ株式会社 ktk INC.
設立	1971(昭和46)年6月29日
資本金	2億9,467万円
本社所在地	名古屋市東区泉二丁目3番3号
従業員数(連結)	293名 <small>(注) 従業員数は、就業人数であり、使用人兼務役員1名及び嘱託社員・派遣社員・パートタイマーの期中平均雇用人数135名は含んでおりません。</small>
事業内容	リサイクル商品、OAサプライ商品、オフィス関連商品の販売
グループ会社	株式会社青雲クラウン SBMソリューション株式会社 株式会社キタブツ中部

取締役 (2018年11月9日現在)

代表取締役会長	青山 英生
代表取締役社長	土岐 勝司
取締役	山吹 依生
取締役	武井 修
〈監査等委員〉	
取締役	赤羽 聡
社外取締役	脇之 蘭 修
社外取締役	鈴木 智洋

(注) 赤羽聡は、常勤の監査等委員であります。

株式の状況

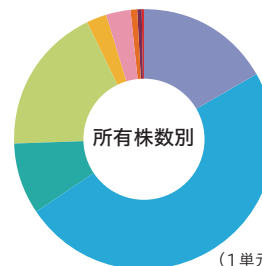
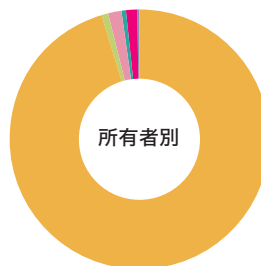
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式総数	5,725,000株
株主数	1,272名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
加藤道明	870,200	15.21
青山英生	785,100	13.72
青雲堂株式会社	520,000	9.09
名古屋中小企業投資育成株式会社	400,000	6.99
川島和之	229,000	4.00
青山知広	170,000	2.97
青山深雪	130,000	2.27
小沼滋紀	130,000	2.27
村木文恵	108,000	1.89
青山正幸	103,000	1.80

(注) 持株比率は、自己株式2,861株を控除して計算しております。

所有者別・所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	毎年11月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年8月20日 中間配当 毎年2月20日
単元株式数	100株
証券コード	3035
上場金融商品取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 http://www.ktk.gr.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

○住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式事務の取扱

■ 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

■ 同事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

■ 郵便物送付先(電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)

*取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

ホームページのご案内

当社では、IR活動の一環として、ホームページを充実させております。

株主の皆様へは、よりスピーディーな情報提供を心掛け、決算情報や取引所への開示資料等を発表後速やかにホームページへ掲載しています。

他にも企業情報等を掲載しておりますので、皆様へのアクセスをお待ちしています。

<http://www.ktk.gr.jp/>



▲トップページ



▲IR情報



▲メール配信

ご登録方法

- 1: [IRメール配信登録に伴う個人情報の取り扱いについて]をご確認の上、[同意する]をクリック。
- 2: ポップアップ画面にメールアドレスを入力。

ケイティケイ株式会社

〒461-0001 名古屋市中区栄二丁目3番3号
TEL. 052-931-1881 (代表) FAX. 052-932-5459
<http://www.ktk.gr.jp/>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、植物油インキを使用して印刷しています。